



令和5年7月24日
海上保安庁

JICA 課題別研修(海図作製技術コース)を開講

～ 水路測量の国際資格を取得できる研修 ～

海上保安庁では、令和5年7月26日～12月21日の間、独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力し、開発途上国で水路測量に従事する技術者を対象とした海図作製能力向上のための研修を開催します。

本研修は、海上保安学校学生を対象とした講習を除き、国内で水路測量の国際認定資格が取得できる唯一の研修で、本研修を修了した研修員には、水路測量国際B級資格が付与されます。

1 研修概要

本研修は、昭和46年から毎年度実施しており(新型コロナウイルス感染症の影響により2回中止)、今年で51回目の開催となります。これまでに45カ国から450名以上の修了生を輩出し、開発途上国の能力向上に貢献しています。

修了生の多くが、帰国後、タイ、フィリピン、マレーシアなど各国水路当局で要職を務めるなど、アジア等各国の水路当局の幹部として活躍しています(別紙参照)。また、本研修は、海上保安学校学生を対象とした講習を除き、国内で水路測量の国際認定資格が取得できる唯一の研修であり、本研修を修了した研修員には、水路測量国際B級資格が付与されます。

海上保安庁は、本研修を通じ開発途上国の海図作製能力を向上させることで、世界の航海安全に貢献するとともに、各国との国際的な協力関係の強化にも大きな役割を果たしています。

2 日程

令和5年7月26日(水)～令和5年12月21日(木)(詳細は別紙参照)

3 研修参加予定者(5カ国7名)

フィジー1名、マレーシア2名、フィリピン2名、ソロモン諸島1名、ベトナム1名

4 主なカリキュラム

- (1) 海図作製に必要な理論及び実務に関する講義(測地学、潮汐、水深測量等)
- (2) 海図作製に必要なデータ収集のための港湾測量実習
- (3) 海上保安庁測量船による洋上実習

5 取材申し込み

各種実習を含め、研修期間中随時取材を受け付けております。別紙のスケジュールをご参照いただき、取材を希望される場合は、お問い合わせ下さい。

○主な研修スケジュール（予定）

実施予定日	実施予定場所	内容
令和5年7月31日（月）	海上保安庁海洋情報部	カントリーレポート発表会
令和5年9月28日（木）～10月23日（月）	大分県別府港	港湾測量実習
令和5年11月7日（火）～8日（水）	駿河湾	測量船による洋上実習
令和5年12月20日（水）	JICA 東京センター	閉講式

※上記以外の期間は、海上保安庁海洋情報部で主に海図作製に必要な理論及び実務に関する講義を予定しています。

【参考】

○水路測量国際B級資格

水路測量等の国際基準を定める国際委員会（IBSC）が認定した水路測量技術者養成コースの修了者に付与される資格で、国際A級、国際B級の2つがあります。

国際B級は、水路測量を全般にわたり実施可能な実務レベルの技術者の養成を目標としています。

（水路測量国際B級のコースは世界で29カ国35コースがあります（令和4年8月時点））

○本研修に参加した主な各国水路当局要職経験者

研修参加年	名前	役職
1972年	First Admiral Mohd Rasip bin Hassan	元マレーシア水路部長
1981年	Vice Admiral Supote Klangvichit	元タイ水路部長
1983年	Vice Admiral Charin Boonmoh	元タイ水路部長
1985年	Commodore Romeo I. Ho	元フィリピン水路部長
1987年	Rear Admiral Fadzilah Bin Mohd Salleh	元マレーシア水路部長
1990年	Mr. Efren P. Carandang	元フィリピン地図資源情報庁次長
1991年	Rear Admiral Zaa'im bin Hasan	元マレーシア水路部長
1992年	Rear Admiral Dato' Hanafiah bin Hassan	現マレーシア水路部長
1994年	Commodore Muhammad Arshad	元パキスタン水路部長
1998年	Mr. Justo Nicholas Lyamura	元タンザニア水路測量部長
2001年	Cdr. Antonio Garcia VALENZUELA, Jr.	現フィリピン水路部長

○令和4年度に実施した本研修の様子



大分県別府港での港湾測量実習



測量船での洋上実習（測量船「明洋」）